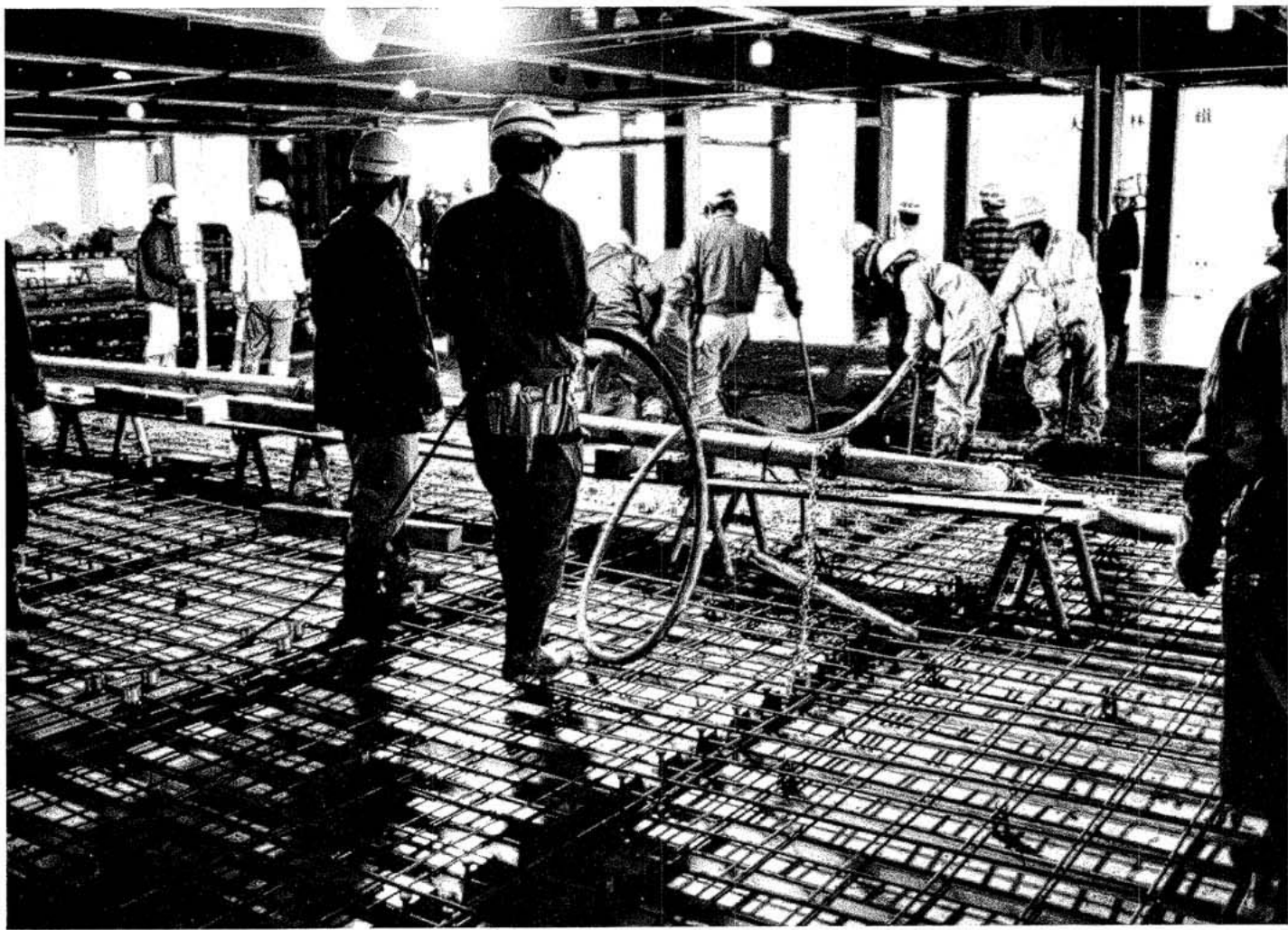




インヘッダーは メンテナンスフリー

高周波バイブレーター（愛称インヘッダー）はごく普通のバイブレーターとして、いまではどの現場でも使われています。

軽く使いやすい、コンクリートの仕上りがよい、電圧が低く安全だ、コードを延ばして使えるので作業範囲が広がった、能率があがる。その他現場からはいろいろの声を聞いておりますが、要はインヘッダーの本当の良さが認められて、皆さんがこの製品の性能を引き出して使っているということに尽きるのではないかと思います。

三笠のインヘッダーに対するご批判やなくさんのご意見と共に、普段はあまり表面には出ない裏方である修理に携わる方々が三笠のインヘッダーに対して日頃どのような考へ方をされているか、貴重な考えを述べていただきました。

故障が少なく、修理屋は商売あがったり

今回は仙台市扇町にある須賀電機
さんにお邪魔致しました。



須賀社長と工場内部

現在、須賀電機さんには三笠指定サービス工場の一つとして、モーターおよびバイブレーター関係の修理を依頼しておりますが、最近特に普及の度合いが目覚ましい高周波バイブレーターについて須賀社長さんのお話を伺ってみました。

高周波パイプレーターの普及度が近年高まってきているようですが、その理由はどんなところにあると思いますか。

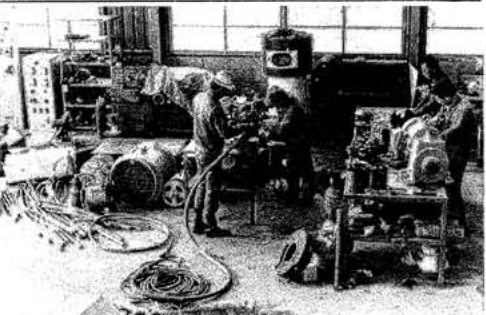
そうですね、私は修理の方です。から、現場の事はよくわかりませんが、品物自体の完成度が高まって高性能で比較的安価な国産品が手に入るようになったのではないですか。

物に比べても高品質で、ほぼ完成の域に至っていると思いますね。又、三笠の物は、設計のアイデアも申し、細い所まで気を使っているようです。それともうひとつ、時々現場の方に言われるのですが、現場での作業能率があがる上に、コンクリートの仕上がりが良くなるということも大切な事でしよう。

—三笠では、十数年前から作っているわけですが、その頃と比べて、どんな所が進歩したと思いますか。

一口に言って、全てでしようね。モーター本体を始めとして、ベアリング、グリス等の材質が向上し、総合耐久性の全てが良くなりましたね。高周波バイプレーターも国産品愛田時代に入ると共に、三笠のインヘツダはある意味で、メインテナンスフリーの時代に入ってきているのではないでしようか。だからリース業者さんでも、台数が増えて来ているのでしようね。

「最後に修理屋さんとして、ユーザーさんとメーカーにのぞむ事は、そうですね、まずユーザーさんにお願ひしたい事です、コンバーターを使う場合は、200Vの電源をきちんと確保できるように配線をお願いしたいですね、エンジンエネレーターの場合は、エンジンの日常整備という所でしょうか、メインテナ



もとです。又、機械は必ずいつか故障するものですから、その時にたつてあわてないように、多少費用がかかっても、スベアを持って頂くのの万全を期すべきでしょうね。日はメーカーさんをはめすぎたやうな気もしますので、さらにすぐれな物を開発して下さいよう三笠さんはお願ひしておきます。

このあと作業場で社員の方も交てお話を伺っているうちに、これ上、良くなりすぎてはメシの種がなくなってしまうですよ、今でさう障が少なく修理屋泣かせなのになどと半ば本音、半ば冗談ともとの言葉も聞かれるうちにインタビ―を終えさせていただきました。どうもありがとうございます。

三笠製品への自信が強くなると、
常に一歩進んだものを目指す姿勢
これまでより以上に大切にしてく
はならないと痛感いたしました。

東京 三笠産業の本社からさほど遠く
いところに小石川の後楽園がある
後楽園といってもスタヂアムでは
なくて、黄門さまで知られる水戸徳
家の庭園でいまでは東京都が管理
している。

このすぐ近くでトヨタ自動車工業
東京ビル新築工事がいま酣である
この共同企業体作業所に榎大扶

話をいろいろと伺った。
いま現場で使っているインヘッ
ーは40型が十本と60型が四本。
牧野主任は高周波バイアレータ
は言わずに三笠のベトナムームで
る「インヘッター」と言っていた。
無意識に口にはったのであろう。
我々としては親密感を覚え、な
なく嬉しくなる。
一台のコンクリートポンプ車か

吐き出されるコンクリートを処理するの60型と40型のインヘッダー各ひとつのこと。鉄筋が共振して振動筒いだろうか。

一本を使う指示がでていて、これの
パワーソースとしてFCⅡ4型コン
バーター三台を用意していた。
はじめはポンプ車が三台だったが、
それが増えたの必要に応じてFC
Ⅱ4型コンバーターを更に一台追加
して現在は四台が動いている。

が抜け易くなるのだろうか、なか
かのアイデアである。
インヘッターは48Vの安全電圧だ
から振動筒からの漏電による人身事
故がないので安心して使えるとい
うことがインヘッターを使用してい
る最も大きな理由の一つだ。

どうしてこんなに真っ黒に焼けた
のだから判らないような焼けたを
したモーターが修理に入ってこと
がたまにはある。インヘッターは48
Vの高周波電源を使うということを
知らずに、いきなり200Vを通電し
てしまったとしたか思えないような使

この電源からのラグは丸型なので角型のプラグをも使うことのできるアダプターを工夫したところである。コンバーターは据付場所を定めて一たん置いたらやたらに移動させないのです。故障したことはない、コンバーターからキャプタイヤコードをコンクリート打ちの現場まで延ばしてインヘッターを使っている。普通は5.5mmのコードを25m延ばしているが、更に20mほど継ぎ足して使う器はあるがこれとても故障絶無とはいえない。若し安全装置が作動しなかったことを考えるバイブレーターは安心して使えるバイブレーターだ。重量が軽いことも扱い易くて良いことだ、現場の方からもいまだ重いモーターを引きづりながら仕事をしようなバイブレーターは使えないと、インヘッターの要求があった。ここではコンクリート打設は一カ

勿論、漏電遮断器等の安全対策の機

方をしては。振動筒を鉄筋の間に入れてコジったのでしょいか、振動筒ケースが変形してしまつてなかつたのが回転しなくなり、モーターがロックして焼付けさせたものが修理に入つたこともあった。

インヘッターは普通に使つていれ

ばそんなに故障はしません、修理する立場では現場のことは判らないが、どんな使われ方をしているのか判断に苦しむときもある。

ようだ。
(キャブタイヤコードの太さ5mmの場合40型では70mまで延長可能)
40型インヘッダーはスラブ用として使っている、このあと現場を見たときはコンバーターが地上の片隅に置かれて、四階までキャブタイヤコードが延びてその先に40型を一本継いでスラブのコンクリート打ちをした。
〇〇立方メートルから二〇〇〇立方メートルだからヘッドの摩耗は問題にならないそうである。
この日見せていただいた現場ではスイッチの係と振動筒を操る係が二人で組んで40型インヘッダーを上手に使いこなしていた。
札幌 原田記

なかには振動筒ケースのピンホールからモルタルが浸入してから修理に持込まれたものもあった。

振動の強い60型インヘッターは緻密に組まれた鉄筋の隅々までも充分にコンクリートを浸透させるために、地下壁とか構造階などのように鉄筋が密に入っているところに使っている。

我々は鉄筋の入りにくんでいるところは直径の細いパイプレーターを使う。

東区北二〇条東十九丁目の㈱北映機工に吉田社長を訪ねた。



吉田社長と北映機工



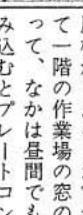
理費も安あがりになることを知って貰い度いと思う。

北映機工は三笠産業札幌出張所関係の修理をすべて引受けているところで、このたび三笠指定サービス工場を引受けていたがいた事業場である。



屋根からおろした雪がうず高く積って一階の作業場の窓のあたりまで埋って、なかは昼間でも薄暗く足を踏み込むとプレートコンパクター用のエンジンが分解してあったり、鉄道の保線工事用のタイタンパーの修理品などが置いてあるのが目につく。

北映機工さんでは三笠の高周波パイプレーターの修理を古くから手がけていていろいろと経験されていることでもあり、我々の気付かない点



（これもいづれは無くなることが見込まれている）

仕事だ。

インヘッターの修理で苦労するのは、リード線を固めてあるシリコンラバーを取り去ることが最も難儀な

つた。40型インヘッダーはゴムホースと振動筒の太さがほとんど同じで接続部分に段差はないが、60型はゴムホースより振動筒の直径が太いので、この首根っこの部分が鉄筋に引っかかって抜けなくなることがある。そうしたら救援のために別の60型を鉄筋にからまっているインヘッダーの傍でまわして抜いてやるので、コンクリートではないかと尋ねた。話はまず初期のインヘッダーと現在のものとの比較になる。インヘッダーが出はじめた頃はリード線の断線によるトラブルがよくあったのだが、リード線の補強対策が施されてからはこの種の故障はまったくと言ってよいほど無くなった。こんなことを言っているんだが、お客さんには使う前に説明書を良く読ませよう。冬期に使うグリッドの問題、スイッチボックス内部の温度差による結露の問題などいろいろなと提起された。修理をしていくこの個体はこうしたらどうとかの具体例を示していたのだが参考意見として拝聴した。三笠のインヘッダーは平均して摩耗も少く、そんなに修理には入ってこないと言っているのが全体をまとめた意見であった。

浅田記



吉田社長と北映機工

札幌
二月下旬の雪の降る昼ごろ札幌
東区北二〇条東十九丁目の㈱北映
工に吉田社長を訪ねた。

定期点検は事故を未然に防ぎ、修理費も安あがりになることを知って貰い度いと思う。



は、インヘッダーの修理で苦勞するのは、リード線を固めてあるシリコンラバーを取り去ることが最も難儀な仕事だ。

（これもいづれは無くなることが見込まれている）

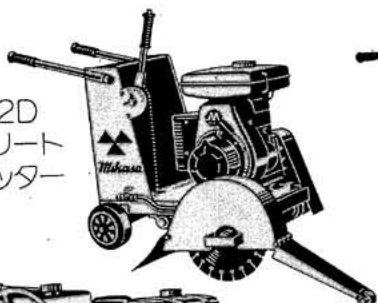
内地と違つて寒冷地での現象として、冬期に使うグリスの問題、スイッチボックス内部の温度差による結露の問題などいろいろと提起された。修理をしていてこの個処はこうしたらばどうかとの具体例を示していたたゞき参考意見として拝聴した。

三笠のインヘッダーは平均して摩耗も少く、そんなに修理には入つてこないと言つのが全体をまとめた意見であつた。

浅田記

●明日を創造する●

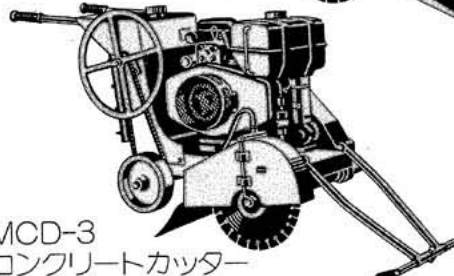
MCD-2D
コンクリート
カッター



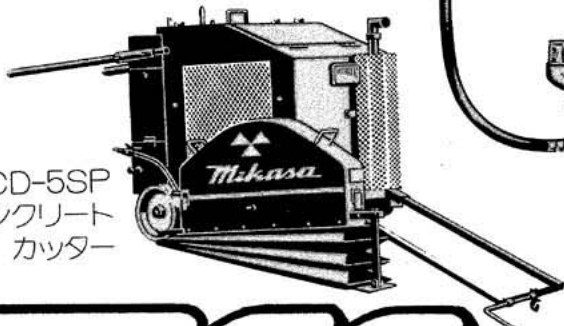
MCD-1U
コンクリート
カッター



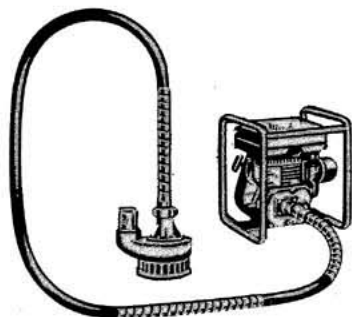
MCD-3
コンクリートカッター



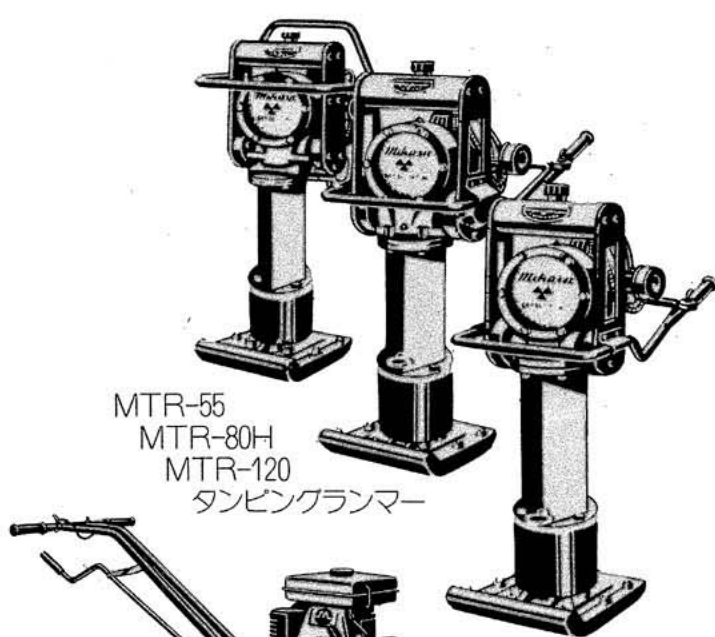
MCD-5SP
コンクリート
カッター



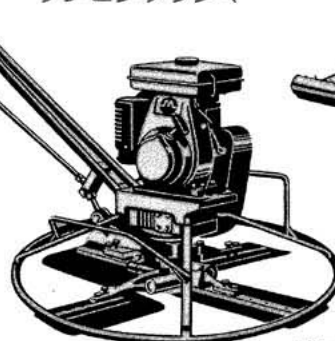
MVP-3L
水中ポンプ



MTR-55
MTR-80H
MTR-120
タンピングランマー

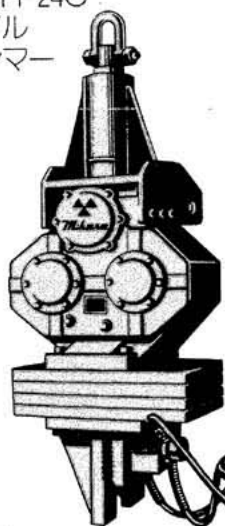


MPT-36
パワートローウェル



Mikasa

MOH-24G
パイル
ハンマー



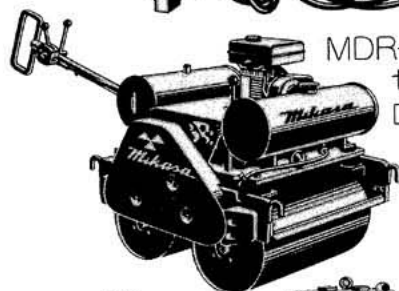
MOP-12
ボールハンマー



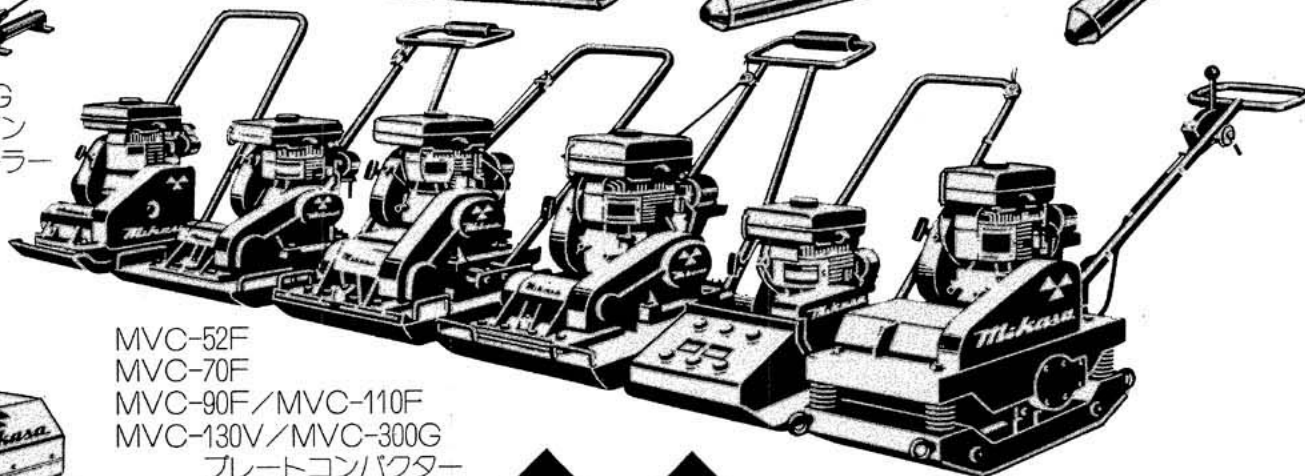
MFG-2500
高周波エンジンゼネレーター



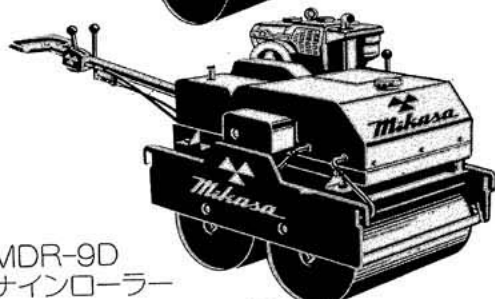
MDR-7G
セブン
ローラー



MVC-52F
MVC-70F
MVC-90F/MVC-110F
MVC-130V/MVC-300G
プレートコンパクター



MDR-9D
ナインローラー



MDR-20N ダブルローラー



特殊建設機械メーカー

三笠産業

- 本社 東京都千代田区猿楽町1丁目4番3号 TEL 03 (292) 1411 大代表
- 札幌出張所 札幌市中央区大通西8-2 (足田ビル) TEL 011 (271) 1931 代表
- 仙台出張所 仙台市卸町5-1-16 TEL 0222 (98) 1521 代表
- 新潟出張所 新潟市堀之内324 (コタカビル) TEL 0252 (84) 6565 代表
- 技術研究所 埼玉県南埼玉郡白岡町
- 工場 群馬県館林市 / 埼玉県春日部市

西部地区総発売元 **三笠建設機械株式会社**

大阪市西区立売堀3-3-10 TEL 06 (541) 9631 代表
出張所 名古屋 / 福岡